地理総合　シラバス
使用教科書［　地理総合(地総002-901）東京書籍　］　履修区分［ 必修 ］　単位［ 2単位 ］

学習の到達目標	① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。 ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりするなかで、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。 ③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めます

レポートNo	教科書ページ	レッスン	評価の3観点 知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	学習のポイント
No.1	P7～P32	第１編　地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第１章　地図と地理情報システム １節　私たちが暮らす世界 ２節　地図や地理情報システムの役割	・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な学習内容を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・地図についての基本的な学習内容を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 ・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。 ・GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。	・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	○さまざまな地図の特徴と表現できる情報について学びます。 ○地図と実際の地球の姿の異なる点を踏まえて情報をとらえるための知識を身につけます。 ○領土、領域について理解し、実際の社会的な事象と結び付けて考えます。 ○日常生活の中で地図を活用し、地理学習の内容を深めるための基礎的な知識を学びます。 ○利用が促進されるデジタル地図を主体的に利用するための基礎的な知識を学びます。
No.2	P33～P61	第２章　資料から読み取る現代世界 第２編　国際理解と国際協力 第１章　人々の生活文化と多様な地理的環境 １節　生活文化の多様性と国際理解	・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通して理解を深めている。 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・文化の地域的な多様性についての基本的な学習内容を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本国内における文化的な差異や地域的傾向を、地図の読解を通じて理解している。	・交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます活発になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノ作人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・文化の地域的多様性が生じる理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・多様な文化が均一化の傾向にあることなど、現代では文化が変容しているものがあることについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○交通機関や情報通信網の発達とそれにともなう社会の変化を学びます。 ○世界の多様な文化について学び、文化・民族とは何かを理解します。 ○結びつく現代世界における、国家群や課題について学習します。 ○世界の貿易の変化や、日本のこれまでの動向とこれからの課題について学びます。
No.3	P62～P85	2節　生活文化と自然環境 ①地形 3節　生活文化と自然環境 ②気候	・山地に暮らす人々の生活について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・平地におけるさまざまな地形の特徴やそれらの土地利用について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな海岸地形の特徴や、人々によるそれらの利用について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・地球上における気候の違い、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真の読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・熱帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・乾燥帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・温帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・亜寒帯・寒帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。	・山地での生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・平地のさまざまな地形における、人々の生活や産業の工夫について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな海岸地形の特徴に応じた、海からの資源を活用した人々の生活や産業の工夫について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽からうける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・熱帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・乾燥帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・温帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・亜寒帯・寒帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・山地における伝統的な資源の利用と文化の形成、および現代社会における重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・自然的な海岸の変化や人為的な海岸の改変について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・乾燥帯における人々の生活やその工夫と、農業や水の確保について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・温帯の各気候区における気候や植生・土壌の特徴と、自然環境に対応した農業について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の大地形について、プレートの動きとあわせて学習します。 ○外的影響が地形にどのような影響を与えているかを学習します。 ○地形や気候が人々の暮らしに与える影響について理解します。
No.4	P86～P131	4節　生活文化と社会環境 ①産業 5節　生活文化と社会環境 ②宗教・民族 第2章　さまざまな地球的課題と国際協力 1節　地球環境問題 2節　資源・エネルギー問題	・各地域の農業生産の特徴や食文化のグローバル化について、写真やグラフ・地図の読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな工業や工場の様子や各地の工業生産について、写真や地図などの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな商業地域や店舗の様子、商業の変化について、写真やグラフの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・情報産業が集積している地域の様子や発展を遂げるさまざまな情報通信技術について、写真や図などの読み取りを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・宗教と生活習慣との関わりや、世界でみられるさまざまな宗教の特徴について、写真の読み取りなどを通じて基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・大気や海洋に関わる環境問題についての基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・深刻さを増す世界の資源・エネルギー問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界中で需要が高まっているエネルギー資源についての基本的な学習を理解し、その知識を身に付けている。 ・化石燃料や再生可能エネルギーについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・販売される商品の種類や買い物行動と店舗の立地について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな宗教の生活規範などの特徴について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で起きている地球環境問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・深刻化を増す森林減少や砂漠化について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界の資源・エネルギーをめぐるさまざまな問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・エネルギー資源の分布や環境への影響などについて、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・国・地域ごとの経済発展や工業化の違いや、国際分業の進展について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・情報通信技術の発達によって、どのような大きな変化が商業や消費行動に表れているかについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・さまざまな要因がからむ地球環境問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・世界のさまざまな地域で起きている森林減少や砂漠化に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○食生活や農業の地理的分布について学習します。 ○先進国、新興国、発展途上国の工業の特色や工業立地について学習します。 ○情報化が産業にもたらした変化を学習します。 ○中国、韓国、トルコ、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカの地誌について、章の内容と関連するトピックから学習します。 ○地球の環境問題や資源・エネルギー問題について、これまで学習した地理的な事象を踏まえて理解します。
No.5	P132～P172	3節　人口問題 4節　食料問題 5節　居住、都市問題 6節　民族問題・紛争と平和の構築 7節　持続可能な社会の実現をめざして	・さまざまな要因がからむ世界の人口問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界人口の変化や分布、増減などの特徴、発展途上国の人口問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・地域的な要因のからむ世界の食料問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・食料供給、食料増産、食料流通の地域差、さまざまな側面から見た世界の食料問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・解決のせまられる発展途上国の都市問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・都市の機能と都市化、都市問題の発生などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・都市内部の地域で異なる先進国の居住・都市問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・各地域の社会状況にあった具体的な解決が求められる先進国の居住・都市問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・深刻さを増す民族問題・難民問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな要因がからむ民族問題・難民問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる世界の人口問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・おもに先進国で進む少子高齢化について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・偏給のアンバランスな世界の食料問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな要因のからむ発展途上国の都市問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・先進国の居住・都市問題について、都市の内部構造をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・民族問題・難民問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地球規模で起きている課題とさまざまな形で行われている国際協力について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地球規模での解決が望まれる世界の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・解決のせまられる先進国の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・地球規模での解決が望まれる民族問題・難民問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・地球規模で起きている課題とさまざまな形で行われている国際協力に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○人口問題と居住・都市問題、食料問題について、先進国と発展途上国の抱える異なる事柄・課題を理解します。 ○地球的な課題が互いに複雑に関連し合っていることを理解します。 ○各地で発生する民族問題・紛争について学習します。 ○持続可能な社会の実現について、身近な課題から主体的に考えます。
No.6	P173～P219	第３編　持続可能な地域づくりと私たち 第１章　自然環境と防災 第２章　生活圏の調査と地域の展望	・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかなことを適切に表現している。	・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○日本の地形の特徴について学びます。 ○日本の気候の特徴について学びます。 ○自然災害について、日本の地形や気候と関連づけて理解し、防災・減災のために身近な生活の中でできることを把握します。

3観点	育むべき能力
A 知識・技能	○社会的事象等について（～は～である）理解し、その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。
B 思考・判断・表現	○社会的な見方・考え方を用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方を用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている。
C 主体的に学習に取り組む態度	○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かろうとして課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。

地理探究　シラバス
使用教科書［　地理探究(地総701)　東京書籍　］　履修区分［　選択　］　単位［　４単位　］

学習の到達目標	（1）地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

レポートNo	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能　A	思考・判断・表現　B	主体的に学習に取り組む態度　C	
No.1	P5～P33	地理探究へのステップ　1　2　3 第1編　現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節　世界の地形	・人間の生活の基盤である地形の重要性について認識するとともに，それを空間的規模と形成要因，人間生活との関係に着目しながら理解している。	・世界の大地形や小地形の形成過程を考察し，その特徴を踏まえながら，人間生活との関係について表現している。	・地形と人間生活との関係について，その形成過程や特徴を踏まえながら，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	世界の地形について理解し，判断することができる。
No.2	P34～P59	2節　気候と自然環境 3節　気候と人々の生活	・地球規模でみられる気温と降水量の分布の特徴とそれが生じる原因についての理解を踏まえ，気候の特徴について理解している。 ・気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて，各々の気候区の自然環境の特徴を踏まえて認識するとともに，人間生活との関係について理解している。	・気候の特徴と植生，土壌との関係について多面的・多角的に考察している。 ・気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて，各々の気候区の自然環境の特徴を踏まえて考察するとともに，人間生活との関係について表現している。	・気候の特徴と植生，土壌との関係について，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・各気候区の自然環境の特徴と人間生活との関係について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	気候と自然環境，気候と人々の生活について理解し，判断することができる。
No.3	P60～P85	4節　日本の自然環境と自然災害 5節　世界の環境問題 第2章　産業と資源 1節　産業の発展と社会的分業	・日本の自然環境の特徴について地形と気候の視点から理解するとともに，今後発生する可能性のある自然災害について整理する。 ・地球規模での環境問題が深刻化している背景・要因について多面的・多角的に理解している。 ・産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し，地域的分業として表れていることを把握するとともに，それが地球的規模で広がっていることを理解している。	・今後発生する可能性のある自然災害について整理した上で，防災・減災へ向けた取り組みについて多面的・多角的に考察する。 ・地球規模での環境問題の現状について考察するとともに，有限な地球環境を持続的に利用するための取り組みについて表現している。 ・産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し，地域的分業として表れていることを地球的規模に立脚しながら考察している。	・今後発生する可能性のある自然災害について整理した上で，防災・減災へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・地球規模での環境問題を踏まえ，有限な地球環境を持続的に利用するための取り組みについて関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し，地域的分業として表れていることについて，地球的視野に立脚しながら関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	日本の自然環境と自然災害，世界の環境問題，産業の発展と社会的分業について理解し，判断することができる。
No.4	P86～P111	2節　農林水産業 3節　食料問題 4節　エネルギーと鉱産資源	・農林水産業の立地とその形態について地域性との関わりから把握するとともに，アグリビジネスの活動が国境を超えて産地と消費地とを結びつけていることを理解している ・世界の食料需給の地域的な偏りが，飢餓や飽食，食料自給率低下といった食料問題を生み出す背景になっていることを理解している。 ・資源の分布や消費の地域的な偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で，各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解している。	・農林水産業の立地とその形態，アグリビジネスの活動を通した国境を超えた産地と消費地との結びつきについて多面的・多角的に考察している。 ・農林水産業の立地とその形態，アグリビジネスの活動を通した国境を超えた産地と消費地との結びつきについて多面的・多角的に考察している。 ・資源の国際取引を成立させている背景について資源の分布や消費の地域的な偏りとの関わりから考察した上で，各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策によって生じる国際対立の解決策について表現している。	・農林水産業の立地とその形態，アグリビジネスの活動を通した国境を超えた産地と消費地との結びつきについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・食料問題を生み出す背景について世界の食料需給の地域的な偏りとの関わりから関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・資源の国際取引を成立させている背景について資源の分布や消費の地域的な偏りとの関わりから関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	農林水産業，食料問題，エネルギーと鉱産資源について理解し，判断することができる。
No.5	P112～P140	5節　資源・エネルギー問題 6節　工業の立地と工業地域の変容 7節　第三次産業	・化石燃料への依存度を減らし，再生可能エネルギーの普及を進めていくことは，地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障上，重要であることを理解している。 ・工業立地の特徴とその変化の動向について，業種の違いや国際分業との関係から把握するとともに，知識集約化の進む工業の新しい展開や，日本の工業の変化と課題について理解している。 ・第三次産業の特徴や変化について把握するとともに，流通産業の発達や情報通信業の集積，医療・福祉産業の国による違いに着目しながら，それらの現代的な位置づけ・課題について理解している。	・地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障の観点から，再生可能エネルギーの普及のあり方について多面的・多角的に考察している。 ・工業立地の特徴とその変化の動向について，業種の違いや国際分業との関係から考察するとともに，知識集約化の進む工業の新しい展開や，日本の工業の変化と課題について多面的・多角的に表現している。 ・第三次産業の特徴や変化について考察するとともに，流通産業の発達や情報通信業の集積，医療・福祉産業の国による違いに着目しながら，それらの現代的な位置づけ・課題について表現している。	・地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障の観点から，再生可能エネルギーの普及のあり方について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・工業立地の特徴とその変化の動向とともに，知識集約化の進む工業の新しい展開や，日本の工業の変化と課題について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・第三次産業の特徴や変化，流通産業の発達や情報通信業の集積，医療・福祉産業の国による違いにについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	資源・エネルギー問題，工場の立地と工業地域の変容，第三次産業について理解し，判断することができる。

No.6	P141～P163	第3章　交通・通信，貿易，観光 1節　交通・通信 2節　貿易と経済連携 3節　観光 第4章　人口，村落・都市 1節　人口	・交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて把握するとともに，交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因，解決に向けての取り組みについて理解している。 ・貿易の発達が世界をグローバルにまたは地域ごとに結び付けてきたことを把握するとともに，それによって生じる問題の背景・要因，解決へ向けての取り組みについて理解している。 ・観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性，多様な形態との関わりから把握するとともに，それによって生じる問題の背景・要因，解決へ向けての取り組みについて理解している。 ・人口分布と人口増加の地域的傾向について把握するとともに，それらに影響を与える人口転換や人口移動について理解している。	・交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて考察するとともに，交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因，解決に向けての取り組みについて表現している。 ・貿易の発達が世界をグローバルにまたは地域ごとに結び付けてきたことを考察するとともに，それによって生じる問題の背景・要因，解決へ向けての取り組みについて表現している。 ・観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性，多様な形態との関わりから考察するとともに，それによって生じる問題の背景・要因，解決へ向けての取り組みについて表現している。 ・人口分布と人口増加の地域的傾向とそれらに影響を与える人口転換や人口移動について多面的・多角的に考察している。	・交通・通信の発達による世界の結び付きの現状，交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因，解決に向けて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・貿易の発達による世界の結び付きや，それによって生じる問題の背景・要因，解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・観光の地理的展開とそれによって生じる問題の背景・要因，解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・人口分布と人口増加の地域的傾向とそれらに影響を与える人口転換や人口移動について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	交通・通信，貿易と経済連携，観光，人口について理解し，判断することができる
No.7	P164～P191	2節　人口問題 3節　村落・都市 4節　居住・都市問題 第5章　生活文化，民族・宗教 1節　生活文化の地域性	・発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について多面的・多角的に理解する。 ・村落・都市の機能や形態，分布の特徴，都市システム都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に理解している。 ・発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について理解している。 ・文化と環境との相互関係や文化が変容する理由について把握するとともに，衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され，歴史的に変容することを理解している。	・発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について考察するとともに，有効な解決策について的確に表現している。 ・村落・都市の機能や形態，分布の特徴，都市システム，都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に考察している。 ・発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きについて考察するとともに，日本の都市が直面している課題について的確に表現している。 ・文化と環境との相互関係や文化が変容する理由，衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され，歴史的に変容することを，多面的・多角的に考察している。	・発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題とその解決策について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・村落・都市の機能や形態，分布の特徴，都市システム，都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・文化と環境との相互関係や文化が変容する理由，衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され，歴史的に変容することについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	人口問題，村落・都市，居住・都市問題，生活文化の地域性について理解し，判断することができる。
No.8	P192～P215	2節　民族・言語・宗教 3節　民族問題 4節　現代の国家と領土問題 第2編　現代世界の地誌的考察 第1章　現代世界の地域区分 1節　地域区分の意義と方法	・民族・言語・国家の相互関係について把握するとともに，文化としての宗教とその多様性について理解している。 ・民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因について多面的・多角的に理解する。 ・国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ，問題の現状や要因，解決へ向けた取り組みについて理解している。 ・地域区分の方法や地域の概念，地域区分の意義について理解している。	・民族・言語・国家の相互関係について考察するとともに，文化としての宗教とその多様性について的確に表現している。 ・民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因について多面的・多角的に理解するとともに，自分たちができる問題解決へ向けての取り組みについて的確に表現する。 ・国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ，問題の現状や要因，解決へ向けた取り組みについて考察している。 ・地域の共通点や差異，分布などに着目して，地域のとらえ方について多面的・多角的に考察している。	・民族・言語・国家の相互関係，文化としての宗教とその多様性について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因や問題解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・国家領域や領土をめぐる問題の現状や要因，解決へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・地域の共通点や差異，分布などに着目して，地域のとらえ方について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	民族・言語・宗教，民族問題，現代の国家と領土問題，地域区分の意義と方法について理解し，判断することができる。
No.9	P216～P243	第2章　現代世界の諸地域 1節　東アジア 2節　東南アジア 3節　南アジア	・中国と韓国を中心に，東アジアの産業や地域格差，文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。 ・東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など，さまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。 ・インドを中心とした南アジアにおける経済成長に着目して，人口増加と農村の変化，都市化と社会の変化などの事象と関連づけることを通して地域理解を深めている。	・中国と韓国を中心に，東アジアの産業や地域格差，文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し，考察している。 ・東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など，さまざまな事象を項目ごとに整理し，考察している。 ・インドを中心とした南アジアにおける経済成長に着目して，人口増加と農村の変化，都市化と社会の変化などの事象と関連づけながら考察している。	・中国と韓国を中心に，東アジアの産業や地域格差，文化などのさまざまな事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など，さまざまな事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・インドを中心とした南アジアにおける経済成長に関わる人口増加と農村の変化，都市化と社会の変化などの事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	東アジア，東南アジア，南アジアについて理解し，判断することができる。

No.10	P244～P265	4節　西アジアと中央アジア 5節　北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節　ヨーロッパ	・西アジアと中央アジアの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら，各々の地域の特徴について理解している。 ・北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら，各々の地域の特徴について理解している。 ・ヨーロッパの地域統合に着目して，産業や都市の変化，地域格差などの地理的事象を関連づけることを通して地域理解を深めている。	・西アジアと中央アジアの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら，各々の地域の特徴について多面的・多角的に考察している。 ・北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら，各々の地域の特徴について多面的・多角的に理解している。 ・ヨーロッパの地域統合に着目して，産業や都市の変化，地域格差などの地理的事象を関連づけることを通して考察している。	・西アジアと中央アジア各々の地域の特徴について，共通点と相違点に着目しながら関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域の特徴について，共通点と相違点に着目しながら関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・ヨーロッパの地域統合に着目して，産業や都市の変化，地域格差などの地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	西アジアと中央アジア，北アフリカとサハラ以南アフリカ，ヨーロッパについて理解し，判断することができる。
No.11	P266～P287	7節　ロシア 8節　アングロアメリカ 9節　ラテンアメリカ	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化，産業地域の変化など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。 ・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族，経済，産業の発展と変容，情報社会と大都市圏など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。 ・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化，産業，開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化，産業地域の変化など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理し，考察している ・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族，経済，産業の発展と変容，情報社会と大都市圏など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。 ・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化，産業，開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化，産業地域の変化などの地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族，経済，産業の発展と変容，情報社会と大都市圏などの地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化，産業，開発などのさまざまな地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	ロシア，アングロアメリカ，ラテンアメリカについて理解し，判断することができる。
No.12	P266～P287	7節　ロシア 8節　アングロアメリカ 9節　ラテンアメリカ	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化，産業地域の変化など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。 ・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族，経済，産業の発展と変容，情報社会と大都市圏など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。 ・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化，産業，開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化，産業地域の変化など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理し，考察している ・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族，経済，産業の発展と変容，情報社会と大都市圏など，さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。 ・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化，産業，開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化，産業地域の変化などの地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族，経済，産業の発展と変容，情報社会と大都市圏などの地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化，産業，開発などのさまざまな地理的事象について関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。	ロシア，アングロアメリカ，ラテンアメリカについて理解し，判断することができる。

3観点	育むべき能力
A 知識・技能	○社会的事象等について（～は～であると）理解し，その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。
B 思考・判断・表現	○社会的な見方・考え方を用いて，社会的事象等を見出し，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方を用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて，説明したり議論したりしている。
C 主体的に学習に取り組む態度	○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かろうとして課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。

歴史総合 シラバス

使用教科書［ 歴史総合(002-901) 東京書籍 ］ 履修区分［ 必修 ］ 単位［ 2単位 ］

学習の到達目標	①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

レポートNo	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P5～P47	第1章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について，諸資料から，情報を適切に読み取ったり，まとめたりしている。	・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し，表現する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現する。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。	・科目全体の学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。 ・近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○世界が近代化に向かって大きく動く18世紀から19世紀に、アジアとヨーロッパの間でどのような国際関係が築かれていったのかを学びます。 ○18世紀後半からイギリスで起こった産業革命が近代化の礎となり，社会にどよのような変化を与え，また世界経済にどのような影響を与えたのかを学びます。 ○アヘン戦争を機に，東アジアの国際秩序が変化し，日本も開国したことによって東アジアは世界の資本主義経済の中へ組み込まれていったことを学びます。 ○産業革命の波及により，19世紀に入ると欧米諸国でも工業化が進み新しい産業が発展したこと，また19世紀後半には中国・日本などアジア諸国でも工業化が進展したことを学びます。
No.2	P48～P81	３節 世界の一体化と多様な近代化 ４節 近代化と現代的な諸課題	・中国の開港と日本の開国、立憲制の広まり、産業革命と交通・通信手段の革新などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	・国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連づけたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について，自身の関わりを踏まえて振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○市民革命によって社会の仕組みが変わり，国民国家の樹立が目指され，ナショナリズムと自由主義の運動が革命や独立運動につながったことを学びます。 ○欧米の進出がアジアに大きな変化をもたらし，明治維新における日本社会の変化と東アジアの国際関係について学びます。 ○欧米で定着した立憲制がアジアにも広まり，日本で制定された大日本帝国憲法がどのようなものであったのかを学びます。 ○列強の帝国主義政策によってアジア・アフリカが植民地化され，日本は日清・日露戦争を通して植民地支配を進めたこと,また世界の人々の帝国主義政策に対する態度について学びます。
No.3	P83～P107	第２章 国際秩序の変化や大衆化の私たち １節 国際秩序の変化や大衆化への問い ２節 第一次世界大戦と大衆社会	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について，諸資料から，情報を適切に読み取ったり，まとめたりしている。諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連づけたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。 ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○第一次世界大戦が国力をつぎ込む総力戦であったこと，戦後はヨーロッパでヴェルサイユ体制，アジア・太平洋でワシントン体制という新しい国際秩序が形成されたことを学びます。 ○ロシア革命とソ連の成立によって社会主義運動が世界各地にに広がり，一方アメリカでは現代の資本主義の特徴があらわれ，大衆文化が生まれたことを学びます。 ○戦後，アジア・アフリカでは独立を目指して民族運動がさかんとなり，大衆の力を軽視できなくなった欧米や日本では普通選挙の確立など民主主義が発展したことを学びます。 ○近代化の過程で確立されたことが大衆化へとつながり，マスメディアの発達などが大衆化を促進したことを学びます。
No.4	P108～P137	３節 経済危機と第二次世界大戦 ４節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・世界恐慌や日本の対外政策などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開から戦後改革などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連づけたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について，自身の関わりを踏まえて振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○世界恐慌の発生により，ドイツ・イタリア・日本ではファシズムが台頭し，第一次世界大戦後に築かれたヴェルサイユ体制・ワシントン条約という国際協調体制が崩壊していったことを学びます。 ○ファシズムの対外膨張により，アジアでは日中戦争，ヨーロッパでは第二次世界大戦がはじまり，これらが結びついてアジア太平洋戦争もはじまったことを学びます。また，戦争終結の流れと戦後構想についても学びます。 ○戦後，敗戦国の日本やドイツなどで連合国による占領政策が実施されるなか冷戦がおこり，冷戦下で中国・朝鮮・ベトナムなどは分断されるかたちで再編されていったあことを学びます。

No.5	P138～P165	第３章 グローバル化と私たち １節 グローバル化への問い ２節 冷戦と世界経済	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について，諸資料から，情報を適切に読み取ったり，まとめたりしている。 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解している。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 ・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連づけたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。 ・グローバル化の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○冷戦が激化する中，1950年代半ば以降に「雪どけ」や第三世界の台頭がみられたこと，また米ソの軍拡競争による核戦争の危機やアジア・アフリカにおける地域紛争の頻発について学びます。 ○第二次世界大戦後，各国で計画経済的な政策が行われたことや先進国と開発途上国との経済格差が国際問題となったこと，また日本では55年体制が確立し近隣諸国との外交関係を正常化していったことを学びます。
No.6	P166～P193	３節 世界秩序の変容と日本 ４節 現代的な諸課題の形成と展望	・石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，市場経済の変容と課題を理解している。	・アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連づけたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・グローバル化の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・「歴史総合」で学んだすべての内容における自身の学習の経緯について，自身の関わりを踏まえて振り返るとともに，次の学びに向けての課題を見いだそうとしている。	○先進国ではベトナム反戦運動に代表される新しい動きと石油危機への対応として新自由主義の経済政策が実施されたこと，一方で東アジア・東南アジアでは著しい経済発展がみられ格差が生まれたことを学びます。 ○冷戦の終結によってドイツの統一・ソ連の解体などが起こる一方，東アジアでは分断が続き，冷戦によって抑え込まれてきた対立が地域紛争として中東で多発し，平和維持活動の役割が拡大していることを学びます。 ○冷戦終結の時期に世界各地で民主化が進み，またグローバル化や地域統合が進んだこと，一方でこれらはグローバル化の負の側面によって壁にぶつかっており，持続可能な社会の構築が求められていることを学びます。 ○グローバル化の負の側面によって，先進国では様々な格差が拡大し，地域統合や民主主義も動揺が見られることを学びます。

3観点	育むべき能力
A 知識・技能	○社会的事象等について（～は～であると）理解し，その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。
B 思考・判断・表現	○社会的な見方・考え方を用いて，社会的事象等を見出し，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方を用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて，説明したり議論したりしている。
C 主体的に学習に取り組む態度	○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かろうとして課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。

世界史探究　シラバス

使用教科書［　世界史探究(地総701) 東京書籍　］　履修区分［　選択　］　単位［　４単位　］

学習の到達目標	（1）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される 日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

レポートNo	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能　A	思考・判断・表現　B	主体的に学習に取り組む態度　C	
No.1	P35～P64	第２章　西アジアと地中海周辺	・衣食住，家族，教育，余暇などの身の回りの諸事象を基に，私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に，人類の歴史と地球環境との関わりについて理解している。 ・王権と身分・階級，生活と生業，宗教，文化・思想などに関する諸資料を活用し，情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 ・オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。	・諸事象の来歴や変化に着目して，主題を設定し，身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し，表現している。 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や，諸事象の空間的な広がりに着目し，主題を設定し，地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し，表現している。 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目して，諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し，問いを表現している。 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・日常生活から見る世界の歴史や，地球環境から見る人類の歴史について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。 ・諸地域の歴史的特質について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。 ・「古代文明の出現」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○なぜ世界史を学習するのかについて，私たちの生活に欠かせないお茶の歴史をたどることで学びます。 ○地球と人類の誕生について，現生人類に直接つながる新人はどのように地球全体に拡散したのか学びます。 ○古代文明の出現について，大きな文明の分布を確認して,古代文明間の共通点と相違点を学びます。 ○古代オリエントとエーゲ海地域について，メソポタミア，エジプト，エーゲ海沿岸の古代国家について学習し，その共通点と相違点を学びます。 ○南アジアの古代文明について，南アジアの地理がどのように文明の広がりや人の移動に影響を及ぼしたのか学びます。 ○東アジアにめばえた古代文明について，黄河文明はどのような原理をもとにして体制を支えようとしたのか学びます。
No.2	P35～P64	第２章　西アジアと地中海周辺	・西アジアと地中海周辺の諸国家，キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に，西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。	・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色，キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「西アジアと地中海周辺」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○古代オリエントの統一について，とくにアッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治のちがいについて学びます。 ○古代ギリシアとヘレニズム世界について，とくにアテネ民主政と現代の民主政のちがいについて学びます。 ○ローマ帝国と地中海世界について，とくにローマが共和政から帝政へと移行した理由について学びます。 ○古代末期の社会と地中海世界の解体について，ローマ帝国の政治，社会，宗教がその後のヨーロッパや西アジアにどのような影響を与えたのかを学びます。 ○地中海世界とアジアについて，ローマ帝国と西アジアは，南アジアや東アジアとどのようにつながっていたのかを学びます。 ○イスラーム世界の成立について，イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのかを学びます。 ○　中世初期の東西ヨーロッパについて，西ローマ帝国滅亡後の東西ヨーロッパはどのような変容をとげたのかを学びます。

No.3	P65～P99	第３章　南アジア 第4章　東南アジア 第5章　東アジアと中央ユーラシア	・仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアの諸国家などを基に，南アジアの歴史的特質を理解している。 ・海の道や東南アジアの諸国家を基に，東南アジアの歴史的特質を理解している。 ・秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。	・南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，南アジアにおける宗教や文化の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，東南アジアにおける宗教や文化の特色，周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「南アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「東南アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○南アジア地域における国家形成について学び，南アジア地域を特徴づける「多様のなかの統一」について具体的に考えます。 ○東南アジア地域における国家形成について学び，交易や思想・文化が国家形成とどのように関係しているのか考えます。 ○東アジアと中央ユーラシアの古代国家形成について学び，古代国家の誕生と発展が社会や文化に与えた影響や，それによって生み出された地域の特色について考えます。 ○8世紀の世界について学び，8世紀がユーラシアの諸地域においてどのような点で転換期であったのか，またユーラシア諸地域の転換はどのように関連していたのか考えます。
No.4	P100～P121	第6章　アフリカ，オセアニア，古アメリカ 第2編　諸地域の交流と再編 第7章　イスラーム世界の拡大と繁栄	・自然環境との関わりなどを基に，ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴を理解している。 ・広がる世界像，宗教や科学・技術および文化・思想の伝播，交易の拡大，都市の発達，国家体制の変化などに関する諸資料を活用し，情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。	・アフリカ，オセアニア，古アメリカの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，諸地域の交流・再編を読み説く観点について多面的・多角的に考察し，問いを表現している。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について，自然環境との関わりに注目しながら，学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。 ・諸地域の交流・再編について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。 ・「イスラーム世界の拡大と繁栄」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○アフリカ，オセアニア，古アメリカの文明について学び，ユーラシア大陸以外に成立した文明について，自然環境とのかかわりにも注目し特徴を考えます。 ○諸地域の交流と再編について，多様な面から考察します。 ○イスラーム世界の拡大と繁栄について，その流れを学び，東西7000㎞にも及ぶアジア・アフリカの広大な地域が一つの文明圏としてまとまった理由を考えます。
No.5	P122～P159	第8章　中世ヨーロッパ 第9章　中華世界の変容とモンゴル帝国	・ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。	・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「中世ヨーロッパ」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○　中世ヨーロッパについて学習し，9世紀から15世紀にかけて，ヨーロッパ社会ではどのような政治，経済，社会，文化の変動がおこったのかについて学び，それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されたのか考察します。 ○中華帝国の変容とモンゴル帝国について学び，歴史上かってない規模の世界帝国であるモンゴル帝国が生まれた過程について学び，モンゴル帝国がどのように世界を結び付けたのか考察します。

No.6	P160～P185	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	・インド洋海域世界と東南アジアの発展などを基に，諸地域の交易の進展を構造的に理解している。 ・アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。	・諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，インド洋海域世界と東南アジアの発展などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「インド洋海域世界の発展と東南アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○インド洋海域世界の発展と東南アジアについて学び，インドと東南アジアにおけるイスラームの広がり方の地域差と，その要因について考えます。 ○大交易時代と世界の一体化について学び，大交易時代に，なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に変化し，世界の諸地域間の関係は，前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのか考えます。
No.7	P186～P224	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	・西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。	・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，諸帝国の統治の特徴，アジア諸地域の経済と社会や文化の特色，日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「ユーラシア諸帝国の繁栄」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○ユーラシア諸国の繁栄について学び，16世紀から18世紀にかけて，アジア諸地域に成立した諸地域が比較的安定した社会を維持できた理由を考え，その経済的繁栄がどのようにもたらされたのか考察します。 ○主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について学び，16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家の特徴と，それが形成された要因を考えます。
No.8	P225～P258	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	・人々の国際的な移動，自由貿易の広がり，マスメディアの発達，国際規範の変容，科学・技術の発達，文化・思想の展開などに関する諸資料を活用し，情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 ・産業革命と環大西洋革命，自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。	・諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，諸地域の結合・変容を読み解く観点について多面的・多角的に考察し，問いを表現している。 ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・諸地域の結合・変容について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。 ・「国民国家と近代社会の形成」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○19世紀から20世紀にかけ，科学技術の飛躍的発展，工業化の進展とともに，イギリスを先頭に自由貿易が展開するなか，人，もの，情報の動きが活発化し世界が密接に連動していくようすを学び，それについて多様な面から考察します。 ○国民国家と近代社会の形成について学び，18世紀半ばから19世紀半ばにかけて，欧米で産業革命や，国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか，またこのような変革は，現代までどのような影響を与えているのかを考えます。
No.9	P259～P297	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	・国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 ・第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。	・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，労働力の移動を促す要因，イギリスの覇権の特徴，アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「世界市場の形成とアジア諸国の変容」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○世界市場の形成とアジア諸国の変容について学び，産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し，後発のヨーロッパ諸国がどのように対応したのか，またヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかを考えます。 ○アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について学び，アジア諸国は自国の危機をどのように認識し，欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめ，また欧米列強はなぜアジアやアフリカなどへ進出しようとしたのかを考えます。 ○１９世紀後半の世界について学び，この時期になぜ人の移動が急速に進んだのか，また移民は移動先の社会にどのような変化をもたらしたのかを考えます。

No.10	P298～P336	第17章　第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章　国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 ・世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。	・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，第一次世界大戦後の国際協調主義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「第一次世界大戦の展開と諸地域の変容」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「国際協調体制の動揺と第二次世界大戦」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について学び，第一次世界大戦は，なぜ「世界大戦」とよばれ，それまでの戦争とそのような点で異なるのか，そして，それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかを考えます。 ○国際協調体制の動揺と第二次世界大戦について学び，アメリカに端を発する世界恐慌は，経済や政治をどのように変化させたのか，またそのなかで台頭したファシズム国家によってひきおこされた第二次世界大戦の推移は，戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかを考えます。
No.11	P337～P362	第19章　第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編　グローバル化と地球的課題 第20章　冷戦の世界化と国際制度	・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 ・国際機構の形成と平和への模索，経済のグローバル化と格差の是正，科学技術の高度化と知識基盤社会などに関する諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，地球世界の課題についての知識を身につけている。 ・集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，先進国の経済成長と南北問題，原子力の利用などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。	・第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連，アジア諸国の独立の地域的な特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会などに関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，地球世界の課題を読み解く観点について考察し，問いを表現している。 ・国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，国際連盟と国際連合との共通点と相違点，先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「第二次世界大戦と戦後の東アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に取り組もうとしている。 ・「冷戦の世界化と国際制度」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○第二次世界大戦と戦後の東アジアについて学び，第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と，実際のアジアの戦後はどのような点が連続し，あるいは異なっていたのかを考えます。 ○冷戦の世界化と国際制度について学び，冷戦のもとで，世界の平和はどのように模索されたのか，また，世界に広がるなかで冷戦は，それぞれの地域でどのような意味をもったのかを考えます。

No.12	P363～P389	第21章　冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章　21世紀の地球的課題と人類社会	・冷戦の変容・終結と地域紛争の頻発，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化，原子力の利用などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 ・地域紛争の頻発，経済のグローバル化，原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，人工知能と労働の在り方の変容，情報通信技術の発達と知識の普及などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。	・国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点，紛争と経済や社会の変化との関連性，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差と政治や社会の変化との関連性，科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，紛争と経済や社会の変化との関連性，経済格差と政治や社会の変化との関連性，現代の科学技術や文化の歴史的な特色，第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・「冷戦の変容・終結と経済のグローバル化」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・「21世紀の地球的課題と人類社会」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について学び，冷戦の変容にともない，アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺し，またその後に生じた経済のグローバル化は何を契機におこり，世界経済をかえていったのかを考えます。 ○21世紀の地球的課題と人類社会について学び，21世紀に入り，地球上ではどのような課題に直面し，それを克服しようとしているのか，それまでの歴史をふまえ，その課題に取り組む当事者として考えます。

3観点	育むべき能力
A 知識・技能	○社会的事象等について（～は～であると）理解し，その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。
B 思考・判断・表現	○社会的な見方・考え方を用いて，社会的事象等を見出し，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方を用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて，説明したり議論したりしている。
C 主体的に学習に取り組む態度	○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かろうとして課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。

日本史探究　シラバス

使用教科書［ 日本史探究(地総701) 東京書籍 ］　履修区分［ 選択 ］　単位［ ４単位 ］

学習の到達目標	（1）我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

レポートNo	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能　A	思考・判断・表現　B	主体的に学習に取り組む態度　C	
No.1	P7～P33	第１編　先史・古代の日本と東アジア 第1章　先史社会の生活と文化 第2章　歴史資料と先史・古代の展望 第3章　古代社会の形成と展開　1節 1・2	・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から，先史・古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，先史社会の特色を理解している。 ・先史・古代の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 ・国家の形成と古墳文化，律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ・自然環境と人間の生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・黎明期の日本列島の変化に着目して，先史社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 ・歴史資料の特性をふまえ，資料を通して読み取れる情報から，先史・古代の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現している。 ・中国大陸や朝鮮半島との関係，隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，小国の形成と連合，古代の国家の形成の過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。 ・先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・1節「律令国家の形成と古代文化の展開」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・1節「律令国家の形成と古代文化の展開」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①先史社会の生活と文化について理解し，判断することができる。 ②歴史資料と先史・古代の展望について理解し，判断することができる。 ③律令国家の形成と古代文化の展開のうち、大和王権と古墳文化から飛鳥の朝廷と文化までについて理解し，判断することができる。 ④東アジアとのかかわりの中での日本史のとらえ方について、具体的な場面も含めて理解している。
No.2	P34～P64	第3章　古代社会の形成と展開　1節 3・4　2節	・国家の形成と古墳文化，律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ・貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。	・「日本列島の各地に分かれていた勢力は，いつごろ，どのようなきっかけで，政治的に結びつくようになったのだろうか」などの課題について，中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して考察し，その結果を表現している。 ・地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・1節「律令国家の形成と古代文化の展開」に関わる問いをふまえて，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・2節「摂関政治と貴族文化」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・2節「摂関政治と貴族文化」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①律令国家の形成と古代文化の展開のうち、律令国家の形成と白鳳文化から平城京と天平文化までについて理解し，判断することができる。 ②摂関政治と貴族文化のうち、平安遷都と唐風文化について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ③摂関政治と貴族文化について理解し，判断することができる。 ④与えられたテーマに沿って文章を取捨選択し、指示に従って再構成してまとめることができる。

No.3	P65～P97	第2編　中世の日本と世界 第1章　中世社会の成立 第2章　歴史資料と中世の展望 第3章　中世社会の展開 1節	・中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から，中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・貴族政治の変容と武士の社会進出，土地支配の変容などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，古代から中世への時代の転換を理解している。 ・中世の特色を示す適切な歴史資料を基に，資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 ・武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解している。	・中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ・権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 ・歴史資料の特性をふまえ，資料を通して読み取れる情報から，中世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現している。 ・公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・中世の日本と世界に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。 ・中世の日本と世界に関わる諸事象について見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・1節「武家政権の成立と朝廷」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・1節「武家政権の成立と朝廷」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①中世社会の成立および中世社会の展開について、理解し，判断することができる。 ②中世の日本と世界について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ③中世社会の展開について、理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.4	P98～P122	第3章　中世社会の展開 2節	・武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。	・社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・2節「武家支配の広がりと国際交流」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・2節「武家支配の広がりと国際交流」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①南北朝の動乱と室町幕府の成立および倭寇と東アジア国際交流について、理解し，判断することができる。 ②室町時代の社会と経済活動および自立する戦国大名について、理解し，判断することができる。 ③室町文化について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.5	P123～P144	第3編　近世の日本と世界 第1章　近世社会の形成 第2章　歴史資料と近世の展望 第3章　近世社会の展開 1節　1	・近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から，近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，中世から近世への時代の転換を理解している。 ・近世の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 ・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解している。	・近世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ・村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 ・歴史資料の特性をふまえ，資料を通して読み取れる情報から，近世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現している。 ・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・近世の日本と世界に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。 ・近世の日本と世界に関わる諸事象について見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・1節「幕藩体制の確立」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・1節「幕藩体制の確立」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①近世社会の形成について、理解し，判断することができる。 ②近世社会の展開について、理解し，判断することができる。 ③近世社会の展開について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.6	P145～P165	第3章　近世社会の展開 1節　2･3･4･5	・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解している。	・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・1節「幕藩体制の確立」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・1節「幕藩体制の確立」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①幕藩体制の確立について、理解し，判断することができる。 ②幕藩体制の確立について、理解している。 ③幕藩体制の確立について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。

No.7	P166～P186	第3章　近世社会の展開 2節	・産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解している。	・社会・経済のしくみの変化，幕府や諸藩の政策の変化，国際情勢の変化と影響，政治・経済と文化の関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・2節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・2節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解し，判断することができる。 ②近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解している。 ③近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.8	P187～P217	第4編　近現代の地域・日本と世界 第1章　近代社会の幕開け 第2章　歴史資料と近現代の展望 第3章　近現代社会の展開 1節	・近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から，近現代の地域・日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・対外関係の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，近世から近代への時代の転換を理解している。 ・近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に，資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 ・明治維新，文明開化の風潮，学問の発展や教育制度の拡充，自由民権運動などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，近代的制度の導入，アジアや欧米諸国との関係を理解している。	・近現代の地域・日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，政治・経済の変化と思想への影響などに着目して，近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・時代の転換に着目して，近代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 ・歴史資料の特性をふまえ，資料を通して読み取れる情報から，近現代の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現している。 ・アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，欧米の思想・文化の影響，教育の普及とその影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・近現代の地域・日本と世界に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。 ・近現代の地域・日本と世界に関わる諸事象について見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・1節「近代的制度の導入と新しい国際関係」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・1節「近代的制度の導入と新しい国際関係」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①近代社会の幕開けについて、理解し，判断することができる。 ②近現代社会の展開について、理解している。 ③近代社会の幕開けと近現代社会の展開について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.9	P218～P239	第3章　近現代社会の展開 2節	・大日本帝国憲法の制定，条約改正，日清・日露戦争，産業革命の展開などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，立憲体制への移行，国民国家の形成，産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。	・産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・2節「国民国家と資本主義の成立」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・2節「国民国家と資本主義の成立」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解し，判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.10	P240～P269	第3章　近現代社会の展開 3節・4節	・第一次世界大戦，社会運動の動向，政党政治などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，大衆社会の形成，アジアと欧米諸国との関係の変容を理解している。 ・恐慌と国際関係，軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解している。	・産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大，日本の工業化の進展について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係，政治・経済体制の変化，戦争の推移と国民生活への影響などに着目して，主題を設定し，第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・3節「両大戦間期の日本」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・3節「両大戦間期の日本」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。 ・4節「第二次世界大戦と日本」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・4節「第二次世界大戦と日本」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本について、理解し，判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、第二次世界大戦と日本について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本および第二次世界大戦と日本について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。

No.11	P270～P291	第3章　近現代社会の展開 5節・6節	・占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，戦後の経済復興などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。 ・平和条約と独立の回復，高度経済成長などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解している。	・第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の姿容，戦後政治の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・冷戦の影響，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦後政治の展開，日本経済の発展について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・5節「占領と改革」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・5節「占領と改革」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。 ・6節「国際社会への復帰と高度経済成長」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・6節「国際社会への復帰と高度経済成長」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	①近現代社会の展開の中の、占領と改革について、理解し，判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、国際社会への復帰と高度経済成長について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、占領と改革について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
No.12	P292～P321	第3章　近現代社会の展開 7節・8節 第4章　現代の日本の課題の探究	・アジア諸国との関係などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，現代の政治や社会の枠組みを理解している。 ・社会・経済・情報の国際化などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の姿容を理解している。 ・先史・古代，中世，近世，近現代の学習をふまえて，現代の日本の課題を理解している。	・冷戦の影響，グローバル化の進展の影響などに着目して，主題を設定し，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，現代の世界と日本について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・先史・古代，中世，近世，近現代の学習で表現した歴史の画期，地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係，それ以前の時代からの継続や変化などに着目して，現代の日本の課題の形成に関わる歴史について，多面的・多角的に考察，構想して表現している。	・7節「アジア情勢の変化と経済大国日本」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・7節「アジア情勢の変化と経済大国日本」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。 ・8節「新しい国際秩序と日本の課題」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・8節「新しい国際秩序と日本の課題」の内容に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。 ・先史・古代，中世，近世，近現代の学習を振り返り，自身との関わりをふまえて，持続可能な社会の実現を視野に，主体的に探究しようとしている。	①近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本について、理解し，判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、新しい国際秩序と日本の課題について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本及び新しい国際秩序と日本の課題について、提示された文の内容を理解し，判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。

3観点	育むべき能力
A 知識・技能	○社会的事象等について（～は～であると）理解し，その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。
B 思考・判断・表現	○社会的な見方・考え方を用いて，社会的事象等を見出し，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方を用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて，説明したり議論したりしている。
C 主体的に学習に取り組む態度	○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かろうとして課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。

教科名	**地域研究**	単位	2単位
履修区分	−	評価方法	レポート・単位認定試験

学習の到達目標	①岩国市や山口県および中国地方に関わる諸事象について，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②岩国市や山口県および中国地方の課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ③日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

No	学習内容	評価の3観点		
		知識・技能　A	思考・判断・表現　B	主体的に学習に取り組む態度　C
1	岩国市の歴史と文化	岩国市の歴史と文化について興味を持ち、必要な参考文献を参照し、その問題点や課題点を自ら論理的に考えて文章にまとめることができた。	岩国市の歴史と文化について興味を持ち、参考文献の内容について、著者の主張は本当に正しいのだろうか、データに基づいているのかどうかなどと考え、比較検討することができた。	岩国市の歴史と文化に関する課題について、主体的または協働的に考察し、学習取り組むことができた。必要に応じて参考文献を選ぶことができた。
2 3	山口県の歴史と文化	山口県の歴史と文化について興味を持ち、必要な参考文献を参照し、その問題点や課題点を自ら論理的に考えて文章にまとめることができた。	山口県の歴史と文化について興味を持ち、参考文献の内容について、著者の主張は本当に正しいのだろうか、データに基づいているのかどうかなどと考え、比較検討することができた。	山口県の歴史と文化に関する課題について、主体的または協働的に考察し、学習に取り組むことができた。必要に応じて参考文献を選ぶことができた。
4 5	中国地方の歴史と文化	中国地方の歴史と文化について興味を持ち、必要な参考文献を参照し、その問題点や課題点を自ら論理的に考えて文章にまとめることができた。	中国地方の歴史と文化について興味を持ち、参考文献の内容について、著者の主張は本当に正しいのだろうか、データに基づいているのかどうかなどと考え、比較検討することができた。	中国地方の歴史と文化に関する課題について、主体的または協働的に考察し、学習に取り組むことができた。必要に応じて参考文献を選ぶことができた。
6	身の回りの災害	身の回りで起こりえる自然災害について関心を高め、知識をもとに判断し適切に行動できるように心掛けることができた。	ハザードマップから、身の回りで起こりえる自然災害について考察し、防災・減災とは何かを考えることができた。	身の回りで起こりえる自然災害について考察したうえで、家族や仲間の生命や財産を守るために何ができるかを話し合うことができた。

3観点	育むべき能力
A 知識・技能	必要な参考文献を参照し、その問題点や課題点を自ら論理的に考えて文章にまとめることができる。
B 思考・判断・表現	.参考文献の内容について、著者の主張は本当に正しいのだろうか、データに基づいているのかどうかなどと考え、比較検討することができる。
C 主体的に学習に取り組む態度	課題について、主体的または協働的に考察し、学習に取り組むことができる。 必要に応じて参考文献を選ぶことができる。